

**令和6年度
宮崎県職員採用試験
【大学卒業程度（畜産（社会人））】**

専門・経験論文試験課題

<課題> ※ 専門論文課題に限る

本県で平成22年4月に口蹄疫が発生し、県内牛・豚飼養頭数の約1/4を占める297,808頭が犠牲となり、県内の畜産業や関連産業はもとより県内経済や県民生活へも大きな影響を及ぼしました。

口蹄疫終息後、本県の畜産業の復興を目指し、県として「口蹄疫からの再生・復興方針」や「宮崎県畜産新生推進プラン」などの政策プランを策定し、これまで関係者一体となり着実に推し進めてきたところです。その結果、令和4年の農業産出額のうち畜産産出額は、2,349億円と過去最高を記録しました。

現在は、令和3年度に策定した「みやざき畜産共創プラン」を掲げ、「あらゆる危機事象に負けない畜産」、「賢く稼げる畜産」を畜産農家、関係機関、関連産業並びに県民の皆様と共に創造し、持続可能な魅力ある強くてしなやかな本県畜産業の発展を目標とし、「畜産経営の土台となる防疫」、「持続可能な畜産振興への取組」、「販売・関連産業の発展に向けた取組」の3本の柱で積極的な施策展開を行っています。

そこで、肉用牛の分野において、前述した「みやざき畜産共創プラン」の目標を実現するために、次の5つの視点（①防疫の強化、②生産基盤の強化、③担い手の確保・育成、④飼料自給率の向上、⑤販売力の強化）をすべて踏まえながら、現在の肉用牛が抱える課題とその解決策についてあなたの考えを述べなさい。